

いよおかのこふん 伊豫岡古墳

●所在地／上吾川 伊豫岡八幡神社 ●所有者／伊豫岡八幡神社

いよおかはちまん
伊豫岡八幡神社境内に分布する 10 基からなる古墳群である。

うち南西部の 1 基は「つきのみささぎ月陵」と呼ばれている。「月陵」とその南西部に接して分布している古墳は、ともに古くからぜんぽうこうえんふん前方後円墳と言われているが、正式な調査が行われていないため断言できない。2 基とも主体部は盗掘されている。

このほか、墳丘の一部がかろうじて残るもの 3 基、半壊のもの 3 基、ほぼ原形に近いものが 3 基ある。前方後円墳といわれる古墳の内部主体は不明であるが、他はよこあなしきせきしつ横穴式石室を内部主体とするえんふん円墳である。時期は古墳時代後期であるが、中期古墳も含まれている可能性がある。

古墳が 1 か所にこれだけまとまっているのは県下でも類例が少なく貴重である。

